

重点項目についての環境配慮概要				内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。						
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進(Gloval Warming)						
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 ①各室毎温度調整可能である。(マルチヒートポンプ方式)	Q-1	2	2.1 2.1.3	① 外皮性能	
		Q-1	3	3.1 3.1.3	② 昼光利用設備	
				3.2 3.2.2	③ 昼光制御	
		Q-2	2	2.2 2.2.1	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔	
				2.2.2 2.2.3 2.2.4	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 配管・配線材の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤緑地を設置する。	Q-3	1		⑤ 生物環境保全と創出		
■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦PAL*値のレベル-25%である。 ⑦一次エネルギー消費量 BEI 0.75である。	LR-1	1		⑦ 建物の熱負荷抑制		
		2	2.1	⑧ 自然エネルギー直接利用		
			2.2	⑧ 自然エネルギー変換利用		
		3		⑨ 設備システムの高効率化		
		4	4.1	⑩ モニタリング		
			4.2	⑩ 運用管理体制		
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) ⑪節水型機器を採用している。 ⑫ハロン消化剤は使用していない。 ⑫冷媒はR410Aである。	LR-2	1	1.1	⑪ 節水		
			1.2 1.2.1	⑪ 雨水利用システム		
			1.2.2	⑪ 雑排水利用システム		
	2	2.1	2.1.1	⑫ 躯体材料の再利用効率		
			2.1.2	⑫ 非構造材料の再利用効率		
			2.2	⑫ 持続可能な森林から産出された木材		
			2.3	⑫ 有害物質を含まない材料		
			2.4	⑫ 既存建築躯体などの再利用		
			2.5	⑫ 部材の再利用可能性		
		2.6	2.6.1	⑫ 消火剤		
			2.6.2	⑫ 断熱材		
			2.6.3	⑫ 冷媒		
■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3	5		⑬ 温熱環境悪化の改善		
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)						
	■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性) ⑭地域係数Z=1.2、用途係数I=1.0により、構造計算を行う。 静岡県建築構造設計指針・同解説に準拠する。	Q-2	2	2.1 2.1.1	⑭ 耐震性	
				2.1.2	⑭ 免震・制振性能	
				2.4	2.4.1	⑮ 空調・換気設備
				2.4.2	⑮ 給排水・衛生設備	
				2.4.3	⑮ 電気設備	
				2.4.4	⑮ 機械・配管支持方法	
				2.4.5	⑮ 通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)						
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯バリアフリー法に準じている。 ⑯1階階高5.55m、ラーメン構造を採用している。	Q-2	1	1.1 1.1.3	⑯⑰ ユニバーサルデザイン計画	
			3	3.1 3.1.1	⑯ 階高のゆとり	
				3.1.2	⑯ 空間の形状・自由さ	
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) 特になし	Q-3	3	3.1	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上		
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)						
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) ㉑緑地を設置する。 ㉑景観条例に準じている。	Q-3	1		⑳ 生物環境保全と創出	
			2		㉑ まちなみ景観への配慮	
			3	3.2	㉒ 敷地内温熱環境の向上	
■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3	5		⑬ 温熱環境悪化の改善		